

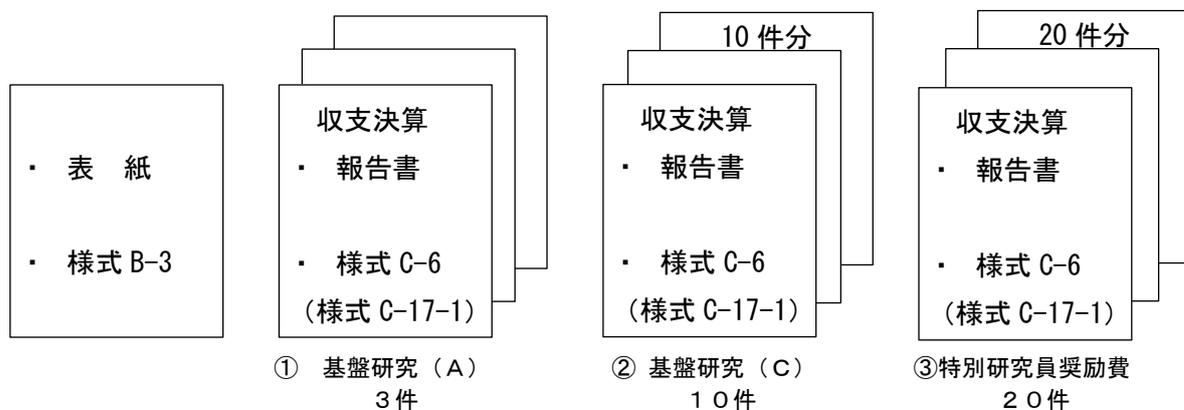
実績報告書等の取りまとめ方法(日本学術振興会交付分(補助金分))

(例) ① 基盤研究(A) 3件、② 基盤研究(C) 10件、③ 特別研究員奨励費 20件 の場合

1. 収支決算報告書(様式C-6) ※様式C-17-1も同様に行う(C-6とは別に取りまとめること)。

- (1) 各研究種目ごとに分け、「課題番号」の順に整理する。※1
- (2) 表紙(様式B-3)に記してある表の順に研究種目順に重ねる。
- (3) 表紙(様式B-3)を付け、全種目一括して綴りひもでとじる。
- (4) 一冊で全種目をとじることができない場合は、分冊にして差し支えない。

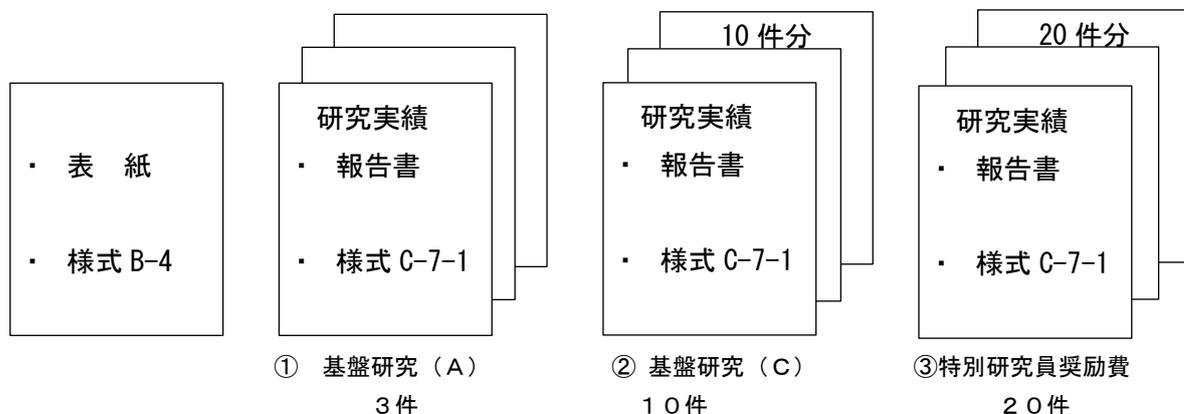
その場合、分冊にも表紙を付けること。 ※ 副本(正本のコピー)を作成する必要はない。



2. 研究実績報告書(様式C-7-1)

- (1) 各研究種目ごとに分け、「課題番号」の順に整理する。※1
- (2) 表紙(様式B-4)に記してある表の順に研究種目順に重ねる。
- (3) 表紙(様式B-4)を付け、全種目一括して綴りひもでとじる。
- (4) 一冊で全種目をとじることができない場合は、分冊にして差し支えない。

その場合、分冊にも表紙を付けること。 ※ 副本(正本のコピー)を作成する必要はない。



※1. 「特別研究員奨励費」については、1.(1)及び、2.(1)の整理において、特別研究員・外国人特別研究員の区分別に分け、それぞれ「採用年度・受付番号」の若い順に整理し、上から特別研究員、外国人特別研究員の順に並べること。